

令和7年度

編入学生募集要項
入 学 案 内



独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

〒745-8585 山口県周南市学園台

電 話 (0834) 29-6233 (学生課)
29-6200 (代 表)

ホームページURL <https://www.tokuyama.ac.jp>

お問い合わせメールアドレス kyoumu@tokuyama.ac.jp

I 選抜の基本方針（アドミッションポリシー）

編入学希望者の選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、数学と英語、および物理または専門科目の学力検査（基礎学力を評価）を行い、調査書等の内容を参考に面接（コミュニケーション能力、意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、これらの結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

また、本科（準学士課程）では、以下の素養を有する人を求めています。

- ・数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えている人

II 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編 入 学 年
機械電気工学科	若干名	第 4 学 年
情報電子工学科		
土木建築工学科		

III 出 願 資 格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において12年の教育課程を修了した者、又は令和7年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (4) その他本校において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

	志 望 学 科	在籍(出身)校における所属科
A コ ー ス	機械電気工学科 情報電子工学科 土木建築工学科	機械科、電気科、電子科又はこれに準ずる科 電気科、電子科、情報科又はこれに準ずる科 土木科、農業土木科、建築科又はこれに準ずる科
B コ ー ス	機械電気工学科 情報電子工学科 土木建築工学科	高等学校等の所属科は問いません。

IV 検 査 日 時 令和6年7月20日（土）9：30～
（集合 学生談話室 9：10）

V 願 書 受 付

- (1) 受付期間
令和6年6月20日（木）から6月25日（火）まで
※郵送の場合も令和6年6月25日（火）必着
- (2) 受付場所 周南市学園台（〒745-8585）
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
- (3) 受付時間 9：00～16：30

VI 出願手続

出願者は、次の書類等をそろえ、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は、書留にして「編入学願書」と朱書してください。

(1) 編入学願書	本校所定の用紙に記入してください。
(2) 写真	上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの（4.5 cm×3.5 cm）を編入学願書の所定欄に貼付してください。
(3) 調査書	在籍（出身）学校所定の用紙を使用し、在籍（出身）学校長が作成し、厳封したもの
(4) 卒業見込証明書 又は卒業証明書	在籍（出身）学校の所定の用紙
(5) 入学検定料	16,500円を本校所定の振込用紙を使用して、銀行で払い込み、銀行の収納済印のある「C出願用」の用紙を入学願書の裏面に貼付してください。 なお、郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は、振込依頼書が異なります。詳細は巻末をご覧ください。 ※災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置については巻末をご覧ください。

〔出願に関する注意事項〕

- (1) 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すこと、入学後に判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
(ア) 検定料を納付したが出願しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
(イ) 検定料を重複して納付した場合
- (3) 受験者から提出された編入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
(ア) 入学後の教育・指導
(イ) 入学料、授業料の免除申請の審査
(ウ) 奨学金申請の審査
(エ) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
(オ) 同窓会・後援会等の案内

Ⅶ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願期限の3週間前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 高等専門学校、短期大学、専修学校入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」をお勧めします。

選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて相談する場合は、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 TEL (0834) 29-6233
FAX (0834) 29-6161 Mail kyoumu@tokuyama.ac.jp

Ⅷ 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、学力検査並びに面接及び調査書等の結果を総合して行います。

なお、自然災害や感染症流行等の非常時の状況によっては選抜方法及び検査時間を変更する場合があります。出願者は本校ホームページを確認し、最新の情報入手するようにしてください。URL <https://www.tokuyama.ac.jp>

(1) 学力検査及び面接日時

◎検査日	令和6年7月 20 日(土)
◎検査場所	徳山工業高等専門学校
当日は、9時 10 分までに本校学生談話室に集合すること。	

コース名	学 力 検 査	面 接
Aコース	9:30～10:30 数 学	14:20～
	10:45～11:45 英 語	
	12:30～14:10 専門科目	
Bコース	9:30～10:30 数 学	14:20～※
	10:45～11:45 英 語	
	12:30～13:30 物 理	

※受験者が B コースのみの場合、開始時間を早める場合があります。
その場合は、受験票発送の際に通知します。

(2) 学力検査科目及び出題範囲

Aコース

区 分		科 目	出 題 範 囲	
一 般 科 目	各学科共通	数 学	数学 I、数学 II、数学 A、数学 B、 数学 C(ベクトルのみ)	
		英 語	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	
専 門 科 目	機 械 電 気 工 学 科	機 械 設 計	機械に働く力 材料の強さ	
		電 気 回 路	(1)磁気と静電気 (2)直流回路 (3)交流回路	
	情 報 電 子 工 学 科	電 気 回 路 電 子 回 路	(1)直流回路 (2)交流回路 (3)電子回路素子 (4)増幅回路	
		ハードウェア技術 プログラミング技術	(1)論理回路 (2)フリップフロップ (3)アルゴリズム (4)データ構造 (出題に用いるプログラミング言語はC言語とする)	
	土 木 建 築 工 学 科	土 木 系	土 木 構 造 設 計	(1)土木構造物と力 (2)静定構造物の計算 (3)材料の強さと部材の設計
			土 木 基 礎 力 学	(1)土の性質と調査及び試験 (2)土中の水の流れ (3)地中応力と土の圧密 (4)土の強さ
建 築 系		建 築 構 造 設 計	(1)構造物に働く力 (2)静定構造物に働く力 (3)部材に関する力学	
		建 築 構 造	(1)木構造 (2)鉄筋コンクリート構造 (3)鋼構造	

Bコース

区 分		科 目	出 題 範 囲
一 般 科 目	各学科共通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、 数学C(ベクトルのみ)
		英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
		物 理	物理基礎、物理

追試験について

令和7年度入学者選抜に出願した者について、次のいずれかに当てはまる場合は、追試験を受験することができます。

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、各選抜の本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者。
- (2) (1)を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由（月経随伴症状等を含む）で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明し、校長が認めた者。

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関等又は高等学校等の学校長による証明書等を必ず提出してください。追試験の受験にあたっては、再度出願書類の提出、検定料を納める必要はありません。

追試験の日程等は個別に連絡します。

Ⅸ 合格者発表

合格者の受験番号を、令和6年7月24日(水)10時に本校に掲示します。

また、在籍者には高等学校等を通じて本人に、既卒者には直接本人に郵送で通知します。(合格発表当日発送)

ホームページでの掲載について

合格発表日から1週間本校ホームページに掲載します。

URL https://www.tokuyama.ac.jp/news_exam/index.html

Ⅹ 入学手続

合格者については、令和6年8月9日(金)までに、「編入学確約書」を提出してください。なお、上記期日までに「編入学確約書」を提出しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

入学に要する諸手続き期限は、令和7年3月18日(火)とします。

Ⅺ 修学指導

合格者については、令和6年10月27日(日)13時から本校で修学指導を実施します。合格通知に併せて案内しますので参加してください。

XII 入試成績の開示について

開示を希望する者は、入試成績開示申請書（ホームページに掲載）に必要事項を記入の上、受験票（コピー不可）を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。なお、開示は、受験者本人からの申請に限ります。

詳細は本校ホームページを参照してください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/exam/hennyu/kaiji.html>

徳山工業高等専門学校編入学案内

1. 本校の概要

本校は、中学校の卒業生に5年間の一貫した工業技術教育により、「豊かな教養と高度の技術や実践力を身につけた技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

第4学年への編入学は、高等学校卒業者に門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。

2. 編入学後の教育

(1) 修業年数

本校の本科における修業年数は5年間ですが、編入学生は第4学年から学習しますので、2年間です。

(2) 教育課程

本校の教育課程は、「学校要覧」に掲載しています。詳細は11頁をご覧ください。第4学年編入学生は、第3学年までの単位を既に修得したものとして認定され、第4学年以降の科目を履修します。

なお、合格決定後早い時期に履修に関するオリエンテーションを行い、就学に必要な指導を行います。

(3) JABEEプログラム

本校では、本科4・5年及び専攻科1・2年のカリキュラムで構成される「設計情報工学」プログラムを設けています。このプログラムは国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者認定機構（JABEE）により、平成15年度に認定されました。本校の第4学年に編入した場合もこのプログラムの履修者となります。

JABEE 認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/jabee.html>

3. 育成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」を育成することをめざしています。

4. 学習・教育目標ならびに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

(A) 「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

- (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること
 - 情報技術・実験、及び総合実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - 卒業研究の科目を修得する
- (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - 創造系の科目を修得する
 - 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

5. 3つのポリシー

本校では、ディプロマポリシー（卒業認定の基本方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）及びアドミッションポリシー（入学者選抜の基本方針）を定めています。

詳細は本校ホームページに掲載しています。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/policy.html>

6. 学 科 案 内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。

各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロニクス技術

「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっていきます。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元CADによる製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度

情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人々の安心できる生活を保障する土木工学と建築学の役割は環境問題にも関係しており、今後ますます重要となります。本学科はこの土木工学と建築学の複合・融合を図り、土木技術者と建築技術者、どちらにも対応できるような課程となっています。本学科卒業時に「測量士補」の資格が得られ、実務経験3年で「測量士」の資格が得られます。また、建築士受験のための指定科目を修得することで、本学科卒業後「二級建築士」及び「一級建築士」の受験資格が得られます（ただし、一級建築士の登録には試験合格後4年の実務経験が必要です）。

7. 編入学時に要する諸経費（令和6年度の場合）

区 分		金 額
入 学 料		84,600 円
授 業 料 (注)	前期分	117,300 円
日本スポーツ振興センター掛金	年額	1,550 円
学 生 会 入 会 金		1,000 円
学 生 会 費	年額	4,000 円
教 科 書 代	学科により異なる	約 45,000 円
そ の 他 諸 経 費		約 60,000 円

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料の納入について

入学料は、令和7年3月18日（火）までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。

授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

PC 等携帯情報機器の持ち込みについて

本校では令和2年度より学生個人のPC等（PC（パソコン）、タブレット端末、スマートフォン等携帯情報機器）の持ち込みを許可しています。授業科目の担当教員の指示・許可のもと、授業ノートやレポートの作成や、学業に必要な情報検索などにPC等を積極的に活用することを推奨しています。そのためのWi-Fi環境※も校内に整備されています。

入学確定後、学科別に、授業に必要な PC 等の詳細をお知らせします。また、感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置として遠隔授業を実施しますので、ご家庭においてインターネット環境を整備してください。

※Wi-Fi（ワイファイ）環境

PC 等を無線でネットワークに接続してインターネット等を利用するための環境

8. 入学料・授業料減免及び奨学金制度

(1) 入学料及び授業料減免制度

入学料及び授業料の減免制度及び徴収猶予制度があります。詳細は、合格後、別途通知します。

(2) 奨学金制度

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、奨学金が貸与又は給付される制度があります。詳細は、合格後又は奨学金の募集があった都度、通知します。

9. 学 寮

(1) 施 設

学内に冷暖房完備の学寮「高城寮」（男子定員 120 名、女子定員 31 名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を過ごすことができます。

(2) 入 寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

(3) 経 費（令和 6 年度の場合）

寄宿料（1 人部屋）	月額	800 円
（2 人部屋）	月額	700 円
食 費（1 日 3 食）	月額	約 40,000 円
寮 費（光熱水費等）	月額	8,000 円
空調機維持管理費	半期	3,000 円
入寮費	入寮時	1,000 円
寮生会費	年額	1,500 円

学寮の詳細については、ホームページをご覧ください。

URL <https://dormitory.tokuyama.ac.jp/>

10. 構内施設・課外活動

図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などの諸設備のほか、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設があります。

クラブ（同好会）の詳細については、本校ホームページをご覧ください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/schoollife/club.html>

11. 卒業後の進路

- (1) 卒業後の就職・進学状況については、本校ホームページをご覧ください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/course/shinro-honka.html>

- (2) 進学について

卒業後さらに勉学を続けたい人は、大学（3年次編入学）又は高専の専攻科（修業年限2年）に進学することができます。

①大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡、豊橋両技術科学大学をはじめ、多数の国公私立大学が編入学制度を実施しています。

②高専の専攻科

専攻科は現在、ほとんどの高専に設置されており、本校にも機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

本校専攻科を修了し、大学院へ進学する者もいます。

本校専攻科の就職・進学状況については、本校ホームページをご覧ください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/course/shinro-senkouka.html>

12. 教育課程

教育課程については、本校ホームページ掲載の「学校要覧」該当頁をご覧ください。

学校要覧 URL <https://www.tokuyama.ac.jp/school/school/info/pdf/catalogue2024.pdf/catalogue2024.pdf>

(掲載場所：本校 HP>学校案内>学校紹介>学校広報誌・刊行物>学校要覧)

学科	学校要覧該当頁
一般科目	27頁
機械電気工学科	16頁
情報電子工学科	20頁
土木建築工学科	24頁

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払請求書）〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、入学願書の裏面に貼付してください。

災害救助法適用地域における災害で被害を受けた 受験生への特別措置について

入学志願者のその主たる家計支持者が令和6年度に災害救助法適用地域に居住して被災された場合には、検定料免除申請書に必要書類を添えて提出することで入学検定料が免除されます。

詳細は高専機構ホームページを参照してください。

高専機構 URL <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/>